

社員一丸で社内体制を改革

大同機械製造（☎072・671・5751）は、粘度の高い液体を送る内転歯車ポンプのトップメーカー海外市場の拡大と国内では設備更新、モノづくり技を活かした下請け部品加工にも取り組み、社員一丸で社内体制を改革する。

海外市場の拡大と設備更新

「化学や食品原料など水以外の液体を送るポンプをつくり続け、国内シェアはトップクラスです」と自負するのは大田龍一郎社長。

高槻市深沢町に本社工場を置き、内転歯車ポンプのパイオニアとして大手企業に供給、日本の産業界を支える。

平成29年1月に社長に就任した大田さんは、「テイク アクション」を掲げて、経営



改革に取り組む。「創業71年の歴史と伝統を活かし、急激に変化する時代の中で新しいことにも挑戦したい」と。

大同機械製造

海外展開では、中国進出を果たし11カ国に代理店を置き、タイに駐在所をもつ。輸出比率

は50%に上り、今

後も海外展開に力を入れる。

一方、国内では生産設備を見直し、製造工程の削減を図る。新製品開発だけでなく古い製品も見直す。創業以来の職人ワザを活かした真空ポンプは、今も注文が増えている。

モノづくりの実績とブランド力、自社の加工技術力を活かして機械部品の下請け加工も始めた。従業員教育、社員旅行なども重視し、社員一丸の社内改革を進めている。

内転歯車ポンプの
トップメーカー



VOL.251

5月号

発行日 2018/4/30

発行元

産業情報化新聞社

〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目14-25 京ニビル205号
TEL.06-6445-7405 FAX.06-6445-7406

URL <http://www.akaruinews.com>

MONTHLY

“日本一” 明るい経済新聞



ビジネス・サクセス・ジャーナル BSJ